

会員の詩

散歩

冬の道に 躍り出る
午後四時 いつもの散歩道
遠くに傾く太陽が
そらと私を迎えてくれる
今日は出会う犬もいない
珍しく誰とも会わず

加藤 桂

ゆつくり
ゆつくり
冷たく澄んだ空気の中を
そらと私
すすむ

ただいま
玄関に入ると
西の窓いっぱいにあふれる光
廊下には 金色のひだまり

それは
ほんの数分のことであったが

そつと腰をおろし
うつとりと
美しい一日の終わりを見とどける
傍らには
そらがいる

「そら また明日だね」

ある日

志田 恵

私が母を殺した日は
雪など降っていなかった
滲みるような空でもなかった

私が母を殺した日は
ありふれた昨日が
今日に変わったただだった

親であることも 妻であることも
脱ぎ捨てて

幼い私に 犬のように
「待て」をさせて

歩き去った
遠ざかる背の 微かな記憶

それから
母は鎖のように 重かった

いくつかの続きと
無機質な時間を経て

失踪宣言が 成立した
もう どこにもいない

戸籍もない 名前もない

私が母を殺した日は
戸籍謄本に引かれた
黒い抹消線を
身じるぎもせず
見つめた日

会費納入のお願い会計より

10月より関西詩人協会の会計は、
新年度(2018年度)になります。
年会費は4,000円(永年会員は
2,000円)今回同封の振込用紙
で、新年度会費納入をお願い
します。
17年度未納の方、16年度を含む
長期滞納の方には別紙を同封
しています。その分も含め納
入をお願いします。
会の健全財政にご協力下さい。

名簿係よりお願い

総会の出欠・委任状と同一の
ハガキに住所等の変更欄を作っ
ています。ペンネーム・住所・
メールアドレス電話番号などの
変更がありましたら返信下さい。
また、以後いつでも以上の変
更がある場合は入退会係が事務
局長へFax、メール、郵便など
でお知らせ下さい。

ホームページだより

*会員の詩(8月1日~10月31日)
和比古「やさしさを感じて」
宇田良子「鶯宿梅」
諸行響「狂える弟を送る」

*会員のエッセイを募集中で
す!!
*会員の活動情報もお寄せくだ
さい!!

(担当:松村信人)

入退会・住所変更

(入会) なし
(退会) 青山由美子
(逝去) 三方克
(住所変更) 左子真由美

〒617-0852
長岡京市河陽が丘2丁目11-8

子引き孫引き(敬語の基本)

日本語の社会で最も古く根源的な
のは、人々が近いか遠いかを軸にし
て人間関係を考える事でした。上か
下かの認識を大切にするのは古墳時
代以後の漢字文化の輸入による社会
の階層化、家父長制の成熟と関係が
あるようです。

現代では敬語という時に上下の意
識による区別と言えれば分かりやすい
ところがこの上下関係をとらえる仕
方は日本最古の形ではないと思われ
ます。

大野晋 『日本語練習帳』より
(編集部)

第32回国民文化祭

ことば
現代詩の祭典

11月25日(土) 13:00~17:00
やまと郡山城ホール

オープニング:阿礼さま踊り
表彰式:入賞作品発表・作品披露
講演:倉橋健一氏
「小野十三郎とふるさと大和郡山」
西村博美氏
「古代人の魂と詩—折口信夫—」